

新環境センター 名称募集要項

〈募集内容〉

新環境センターの名称 ※文字数の制限はありません。

〈募集期間〉

令和7年11月1日(土)～令和7年11月30日(日) ※当日消印有効。

〈募集条件〉

新環境センターにごみを搬入する6市(大分市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市)に在住の方

※年齢制限はありません。

※応募は1人1点とします。(1人2点以上応募があった場合は失格とします。)

※自作で未発表のもの、他の名称と紛らわしくないものに限りします。

〈応募方法〉

・郵送・持参

本パンフレットに付属する応募はがきに必要事項を記入し、下記の応募先まで郵送または持参してください。

応募はがきを用いない場合は、①名称(ふりがな)、②名称の意味や付けた理由、③住所、④氏名(ふりがな)、⑤電話番号、⑥生年月日を記載の上、下記の応募先まで郵送または持参してください。

・E-mail・FAX

①名称(ふりがな)、②名称の意味や付けた理由、③住所、④氏名(ふりがな)、⑤電話番号、⑥生年月日を下記メールアドレスまたはFAX番号に送ってください。

・市ホームページからの応募

ホームページの応募用受付フォームをご利用ください。

・各市施設等に設置の応募箱

大分市役所本庁舎4階清掃施設課、大分市役所本庁舎1階正面玄関、各支所等、及び各市(臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市)施設備え付けの応募はがきに必要事項を記入し、応募箱に投函してください。

〈選定〉

新環境センター名称選定委員会において、応募のあった名称およびその意味や付けた理由を総合的に審査し決定します。

〈選定基準〉

本市が策定した「一般廃棄物処理施設整備基本計画」における「新環境センター整備の基本方針」を踏まえ、次に掲げる基準を総合的に勘案し選定します。

- (1)市民に開かれ、親しみやすく覚えやすい名称であること。
- (2)資源循環型社会の形成を推進する理念を表現していること。
- (3)地球温暖化防止や環境保全に資するイメージを有すること。
- (4)災害に強く、地域の安心・防災拠点としての役割を想起させること。
- (5)環境学習や情報発信の拠点としてふさわしい表現であること。
- (6)地域の景観や文化と調和し、地域振興に寄与するものであること。
- (7)他の施設名や既存の名称と混同されず、独自性を有すること。



〈特典〉

採用作品には5万円を贈呈します。

※同一名称の応募が複数あった場合は抽選により決定し、抽選に外れた方には6市の産品等をお送りします。

※小中学生には5万円の代わりとして同程度の副賞をお渡しします。

〈結果発表〉

受賞者に直接通知するほか、各市ホームページにおいて公表します。

〈留意事項〉

- ・受賞者については、本人の同意を得たうえで、HP等で氏名及び住所(市名まで)を公表する場合があります。
- ・応募いただいた方の個人情報は厳正に管理し、本件募集に関する用途以外には使用しません。
- ・採用作品についての一切の権利は大分市に帰属するものとし、表現、表記等一部を変更して使用することがあります。
- ・応募に要する経費は、応募者の負担とします。
- ・応募名称に著作権等に関わる問題が発生した場合は、すべて応募者の責任となります。
- ・決定した名称が他者の権利を侵害すると判明した場合、又は本募集要項の規定に違反していることが認められる場合は、結果発表後であっても受賞を取り消すものとします。

応募先・お問い合わせ先

〒870-8504 大分市荷揚町2番31号
大分市環境部清掃施設課「新環境センター 名称募集」係
TEL.097-537-5659 FAX.097-536-4487
E-mail: seisosisetu@city.oita.oita.jp

新環境センターの 名称募集

令和7年10月
供用開始

募集期間

令和7年11月1日(土)～
令和7年11月30日(日)
※当日消印有効

大分市が所有する清掃工場は老朽化が進んでいるため、現在、大分市・臼杵市・津久見市・竹田市・豊後大野市・由布市の6市で、新しいごみ処理施設「新環境センター」の整備を進めています。この「新環境センター」が6市の皆さまに親しまれ、地域に根づく施設となるように、施設の名称を市民の皆さまから募集します。



※イメージ図のため、実物とは異なる可能性があります。

本事業の実施方針

地域・市民・自然によりそい、まもり、ささえ、いかし、
子どもたちの未来につなぐ、持続可能な循環型施設



まもり

災害に強く、防災対策機能を備えた施設

- 東日本大震災クラスの地震に耐えた実績ある強化設計で災害に強い施設とし、地域の避難拠点や災害支援拠点としての機能の確保により、市民生活をまもりまします



ささえ

安全、安定性に優れ、長寿命化を図れる施設

- 豊富な実績を活かした技術力で高耐久性・長寿命化を図った施設とします
- 安定稼働を実現する運営体制により、ごみを長期安定的に処理し、市民の快適で豊かな生活をささえまします



よりそう

市民に開かれた施設

- 市民の憩い、交流、健康増進、環境学習の場として清涼感と親近感を兼ね備えたデザインとします
- 積極的な情報発信で地域によりそいとともに、多世代交流による新たな繋がりや価値を創出します



つなぐ

循環型社会形成、地球温暖化防止対策を推進する施設

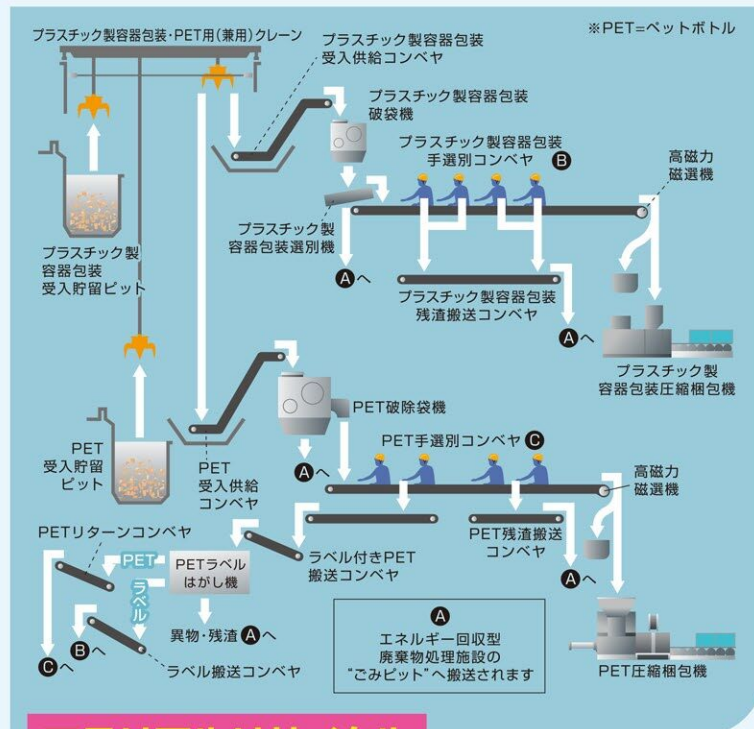
- 高度排ガス処理技術の採用、エネルギー回収率25.5%の実現、温室効果ガスの削減、信頼性の高い資源回収プロセスにより、こども達に豊かな自然環境や資源をつなぎます



いかす

経済性に優れた施設

- 実績に基づいた経済設計や効率的人員配置による運営管理で経済性に優れた事業とします
- 地元企業と連携した事業運営体制で、地域振興(いかす)に貢献します



マテリアルリサイクル推進施設

↑プラスチック・ペットボトルの仕分け解説図

「不燃・粗大ごみライン」「缶・びん類ライン」「プラスチック製容器包装ライン」「ペットボトルライン」の4つのリサイクル施設を備え、1日約60トンの処理能力を持っています。これらの機器と人の手によって繊細に仕分けされ、再資源化工場で新たな商品に生まれ変わります。

管理棟・環境啓発施設

施設見学の際のスタートとなり、ごみの減量や地球環境などについて学べる空間となります。1階にはリサイクル絵本と古着の展示をおこない交換するエリアや、自転車と家具の再生工場があり、まだ使えるモノはきれいにして市民に再利用してもらいます。2階には、リサイクルの流れや環境についての展示物を設置し学べるエリアとします。



↑左が余熱利用施設・右が環境啓発施設



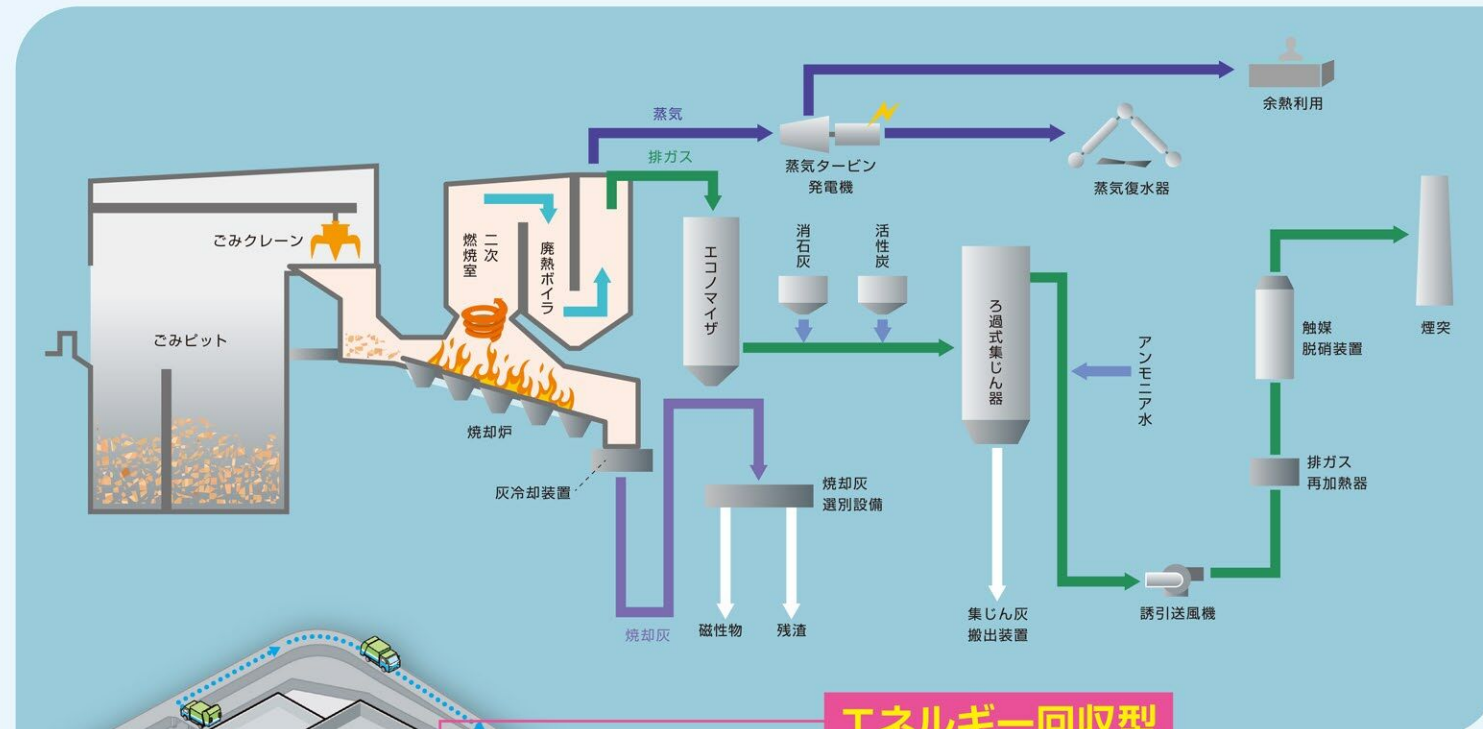
↑エントランス・絵本図書館



↑360°シアター（見学コース始まりの施設）



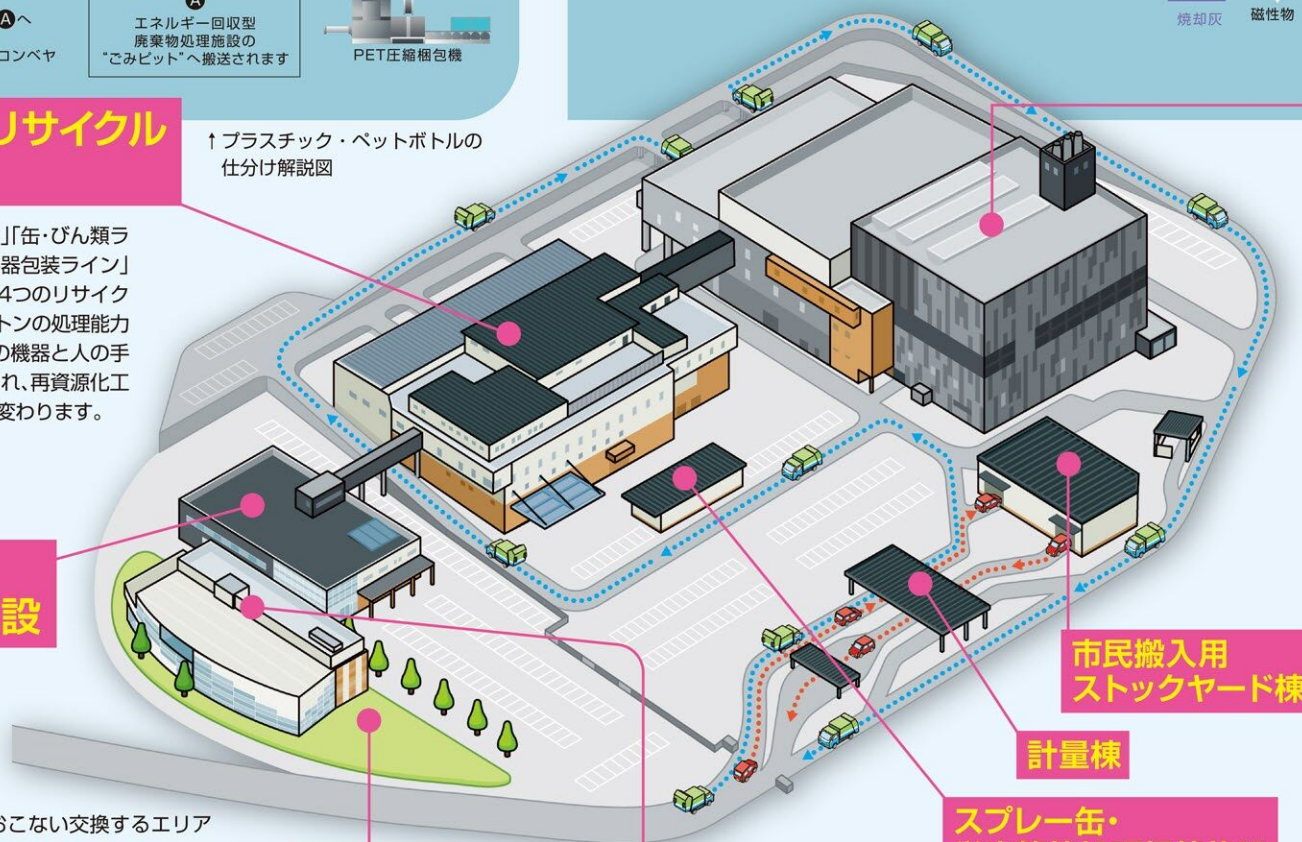
↑見学コース（ごみビット見学窓）



エネルギー回収型廃棄物処理施設

↑ごみの流れ解説図

1日230トンの処理能力がある焼却炉を3基設置し、日本最大級の処理能力を持つ施設です。ごみ収集車で集められた、もやせるごみを受け入れ、焼却炉で燃やします。焼却炉で生まれた熱エネルギーは、電力や温浴施設で利用します。また、焼却灰もセメントの原料などにリサイクルされます。



多目的広場

市民搬入用
ストックヤード棟

計量棟

スプレー缶・
蛍光灯等処理保管施設

余熱利用施設

エネルギー回収型廃棄物処理施設で生まれたエネルギーを利用した温浴プールや屋外・屋内浴場をはじめ、多目的ホールや大広間、こども広場、娯楽室などの設備があり、市民の方々がゆっくり利用し楽しめるエリアとなっています。



↑左が余熱利用施設・右が環境啓発施設



↑エントランス



↑健康増進バーデプール



所要時間 車を利用の場合 大分市役所から車で約40分